

大阪のまちをカンヴァスに！

アーティストの自由な発想と感性、創作意欲を大阪で実現

Osaka Canvas Project



<http://WWW.OSAKA-CANVAS.jp/>
募集要項・提出書類等はおおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロードしてください。

1. 松井龍朗 「The Inside's Outside」(大阪・アート・カレイドスコープ2008「大阪時間」) / 2. 行武治美 「再構築-船場ビル」(大阪・アート・カレイドスコープ2008「大阪時間」) / 3. 木津川ウォールペインティング2009 制作風景
4. ジャワマ・ブレンサ 「THE HEART OF TREES」(水と土の芸術祭2009) 撮影:中村博 写真提供:新潟市 / 5. 開発好明 「かまぼこフェイス」(大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006) 撮影:倉谷拓村 写真提供:大地の芸術祭実行委員会
6. 空土「からっと」 「花プロジェクト-Earth Flower Diary」(水と土の芸術祭2009) 撮影:中村博 写真提供:新潟市

制作条件

設置環境に関する条件 作品は、パフォーマンスやイベント、ワークショップ等期間を定めて実施するものや、コラボカンヴァス部門で予め発表可能期間が示されているものを除き、概ね半年間は良好な状態を維持するものとします。(作品の発表または展示期間は、作者と主催者及び作品発表場所管理者の協議により個別に決定します。)

パフォーマンスやイベント、ワークショップ等は平成23年3月までに実施していただきます。(実施時期は主催者と協議のうえ個別に決定します。)

作品は、発表期間終了後、原則として撤去し、現状復旧をするものとします。(撤去や現状復旧に要する費用を制作予算に含んで見積もってください。)

作品の撤去や現状復旧が平成22年度中に終了しない場合、主催者はその費用を負担できない場合がありますのでご了承下さい。(撤去・現状復旧の時期については、作者と主催者及び作品発表場所管理者の協議により個別に決定します。)

制作予算 作品制作にあたっては、必要な制作資材等を、300万円を上限に、主催者の予算の範囲内で制作支援を行います。

提出いただく作品プランに、必要な制作資材等とそれらの購入に係る経費見積りを添付してください。

ただし、制作資材等は同等品の現物支給、主催者が別途委託する制作支援事業者による役務の提供となる場合があります。

また、輸送費、足場の設置・撤去経費、作品撤去や発表場所の現状復旧に係る経費、練習場借り上げ費、印刷費等が必要な場合についても制作予算に含め見積り金額を提示してください(おおよその額で結構です)。

なお、下記の費用は支援対象となりませんので、ご注意ください。
※人件費、旅費、交通費、滞在費、飲食費、通信費 等

最終的な支援内容は、作者と主催者及び作品発表場所管理者の協議により個別に決定します(見積り金額が必ず制作予算として承認されるわけではありません)。なお、基本的には予算の増額は行いませんので、それ以上の予算での制作を希望される場合は、自己資金でまかなうようにしていただきます。

なお、別途作成プランや詳細見積書の提出をお願いする場合があります。

また、作品決定後であっても、社会情勢の急激な変化など止むを得ず変更する場合があります。

制作時の現場条件 制作可能時間帯やストックヤード・電気・水道の有無など現場条件の詳細は、作者と主催者及び作品発表場所管理者の協議により個別に決定します。

著作権、所有権の取り扱い すべての作品及び応募資料の著作権(パフォーマンスやイベント含む)は作者に帰属します。

ただし、主催者及び作品発表場所管理者は、制作作品や応募資料について、おおさかカンヴァス推進事業広報のため、著作権者の承諾を得ることなく無償で利用できることとします。

作品の所有権は、ウォールペインティングなど、作品発表場所から切り離せないものについては、作品発表場所所有者に帰属します。彫刻等、作品発表場所から撤去可能なものについては、原則として作者に帰属するものとします。

ただし、作者と主催者及び作品発表場所所有者等との協議により、作品発表場所所有者等、第三者に帰属する場合があります。

作品の維持補修に関すること 日常的な維持・補修は、原則として主催者または作品発表場所管理者が行いますが、明らかに作品自身やその設置方法に原因がある場合は、作者が補修の責任を負うこととします。

応募方法

応募資格 当事業の主旨を理解し、選考された際には作品の完成まで取り組める方(個人・グループを問いません)

応募可能提案数 1名・グループにつき5提案まで。
(1作品毎に1提案となります。)

【フリーカンヴァス部門】【コラボカンヴァス部門】の両方に応募いただいても結構です

提出物 下記の内容をA3サイズ以内、かつ合計10枚以内でまとめ、ホットキスで止めて提出。
(ファイル・パネル不可/言語は日本語に限りです)

1 所定の応募用紙
(おおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロード)

2 作品プラン
発表(または展示)希望場所(施設名、住所、作品設置位置詳細等)及びその写真、発表場所選択理由、作品名、作品コンセプト、作品プランまたは内容(ドローイング等)、制作方法、素材、制作スケジュール等

※パフォーマンスなど映像でしか表現できないプランについては、内容が判る映像(10分以内)を添付してください。

3 必要な制作資材等の内容と経費見積もり、必要な支援人員、等
※必要な制作資材等の内容と経費見積もりについては、[制作条件]の項目を参照してください。

4 経歴書・過去作品事例などの参考資料
(提出は自由です。)

5 上記の全てを電子データで記録したCD-ROM等
PDF、JPEG、MS-WORD、MS-EXCEL、MS-PowerPoint、WMV、MPEG、AVI いずれかの形式で記録したCD-ROMまたはDVD-ROM

※提出物は返却いたしません。

応募に関する質問の受付と回答 期間：平成22年6月7日(月)～6月28日(月)
メールアドレス：bunka@sbox.pref.osaka.lg.jp
FAX番号：06-6944-6647

回答は、おおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトで7月2日(金)までに掲載します。

※質問は所定の質問票により、電子メールまたはFAXのいずれかの方法に限り、電話等による個別の質問には対応しませんので、ご了承下さい。

※質問票はおおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロードしてください。

※コラボカンヴァス部門で記載されている施設等へ、直接の質問はご遠慮下さい。

〒540-8570
大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 文化課
おおさかカンヴァス推進事業担当宛
※応募受付は、郵送のみとします

企業・団体・府民の皆様へ

この事業の主旨に沿った作品発表場所のご提供や、制作資材・協賛金などのご寄付も募っておりますので、ご協力をお願いいたします。

<http://WWW.OSAKA-CANVAS.jp/>

募集要項・提出書類等はおおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロードしてください。

このパンフレットは企画から印刷まで全てを外注して、作成しております。(5000部作成、作成費用46円)



おおさかカンヴァス推進事業

募集期間 2010年6月7日(月)→7月12日(月) 制作・発表 2010年11月→2011年3月

おおさかカンヴァス推進事業

大阪のまちをカンヴァスに！ アーティストの自由な発想と感性、創作意欲を大阪で実現

事業目的 この事業は、「大阪文化振興新戦略」に基づき、『「大阪の街を使いこなす」～都市全体を發表の場に！』と『「府民の思いを都市づくりに活かす」～官民協働のプラットフォーム』の二つの戦略のもと、大阪のまち全体を若手アーティスト等の發表の場として活用し、大阪の新たな都市魅力を創造・発信しようとするものです。公共空間とアートのコラボレーションによって、都市や地域の新たな魅力を発見・発信することと、アーティストが、アイデアと想いを実現できる機会を得ることを目的とします。（この場合の公共空間とは、不特定多数の人の目に触れる場所とします）

募集内容 大阪のまち全体をアーティストの發表の場として「カンヴァス」に見立て、アーティストが制作したい作品と場所についてアイデアを募集、集まったアイデアの中から10作品程度を選考して作品を發表していただきます。絵画（ペインティング）だけでなく、彫刻やオブジェ、パフォーマンス、イベント、プロジェクト、ワークショップなど、あらゆる分野のアート作品を対象とします。

發表したい「場所」と「作品」の両方を提案していただく【フリーカンヴァス部門】と、主催者が紹介する「場所」や「事業」に対して「作品」を提案していただく【コラボカンヴァス部門】があります。ただし、営利を主目的とするなど、本事業の目的に沿わない提案はご遠慮下さい。

スケジュール

応募受付 平成 22 年 6 月 7 日（月）～平成 22 年 7 月 12 日（月）必着
※作品の選考過程において、追加資料のお願いやヒアリング等を行う場合があります。

審査結果発表 平成 22 年 8 月下旬
※おおさかカンヴァス推進事業の公式 WEB サイトで発表するとともに、応募者へ通知します。

作品制作説明会 平成 22 年 10 月頃

作品制作・発表 平成 22 年 11 月頃から平成 23 年 3 月までの間で 2ヶ月間程度（作品により異なります）

審査について

主な審査基準

1. この事業の目的に沿った大阪の都市、または地域の魅力発掘・発信度
2. アイデアの斬新さ
3. 実現へのリアリティ など

審査委員

建島 哲（たてはた・あきら）
国立国際美術館長
1947年、京都生まれ。多摩美術大学教授等を経て、2005年から現職。90年、93年にヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナー、横浜トリエンナーレ 2001のアーティストリック・ディレクター。今年、あいちトリエンナーレ 2010 芸術監督を務める。詩人、美術評論家としても活躍中。『余白のランナー』（歴程新鋭賞）、『零度の犬』（高見順賞）などの詩集の他、多数の著書がある。

谷口 純弘（たにくち・よしひろ）
FM802プロデューサー
1963年、京都生まれ。大阪のラジオ局 FM802のアートプロジェクト「digmeout」プロデューサー。「ヤングアート、大阪から世界へ」をテーマに、若手アーティストを起用した企業プロモーション、ギャラリー運営、海外での展覧会などアートを通じて人と街をつなぐ仕事をしている。

ヤノベケンジ
ウルトラファクトリー・ディレクター
1966年、大阪生まれ。ランドスケープ・デザイナー及びまちづくりを国の内外を問わず実践。主なプロジェクトに、千里リハビリテーション病院（グッドデザイン賞・医療福祉建築賞）、近畿大学・洗心の庭（造園学会奨励賞）、中国・成都未来広場など。現在、(株)E-DESIGN 代表取締役、NPO 法人パブリックスタイル研究所理事長、ウェブマガジン OSOTO 編集長を務める。著書「マゾヒスティック・ランドスケープ」獲得される場所をめざして（共著）など。

忽那 裕樹（くつな・ひろき）
ランドスケープ・デザイナー
1966年、大阪生まれ。ランドスケープ・デザイン及びまちづくりを国の内外を問わず実践。主なプロジェクトに、千里リハビリテーション病院（グッドデザイン賞・医療福祉建築賞）、近畿大学・洗心の庭（造園学会奨励賞）、中国・成都未来広場など。現在、(株)E-DESIGN 代表取締役、NPO 法人パブリックスタイル研究所理事長、ウェブマガジン OSOTO 編集長を務める。著書「マゾヒスティック・ランドスケープ」獲得される場所をめざして（共著）など。

01 フリーカンヴァス部門

發表したい「場所」と「作品」の両方を提案していただくものです。平面・立体・映像・パフォーマンス・イベント・プロジェクト・ワークショップ等、作品ジャンルは問いません。

注意事項

- ・作品プラン提出時には、作品展示（またはイベント等の発表）を希望する場所の管理者等の許可を事前に得ておく必要はありません。作品の選考過程において、作者と主催者及び作品発表場所管理者が必要に応じて協議します。
- ・作品制作・展示・発表に関する地域の人々の協力や参加については、作品の選考過程において、作者と主催者が協働して調整を行う可能性があります。
- ・作品の展示または発表にあたっては、鑑賞者や通行者の安全確保を最優先し、作者が責任を持って搬入・制作・展示・搬出することとします。また、安全確保のための主催者及び展示・発表場所の管理者の指示に従っていただきます。
- ・何らかの機能を有する場所において展示・発表する場合は、展示期間中、その本来の機能を維持させてください。

02 コラボカンヴァス部門

主催者や作品発表可能場所管理者等が提案する候補地や事業に対して「作品やデザイン」を応募いただくものです。

候補地や事業により、作品ジャンルの指定やテーマが設けられている場合があります。候補地や対象事業は随時追加されますので、公式 WEB サイトで最新の情報をご確認ください。

現在、募集を予定している候補地や事業

1. 電気自動車（EV）タクシーの車体のラッピング・デザイン等
今年度、大阪府域を走行するEVタクシー 50 台に共通デザインのラッピングを施します。詳細は、6月下旬に WEB サイトにて発表しますので、ご確認ください。
2. 木津川ウォールペインティング2010
昨年度、木津川の千代崎橋から道頓堀川合流点までの東側で実施した護岸へのウォールペインティングを、今年はさらに上流へ延伸して実施します。詳細は秋頃に WEB サイトにて発表しますので、ご確認ください。
3. 大阪府庁舎
本館、別館、咲洲庁舎、府民センタービル、府税事務所 等
4. 関西国際空港（現在調整中）
5. 道路・公園・河川等でのアート・プロジェクト（各所と調整中）
6. アートイベントで実施するプロジェクトへの参加アーティスト募集

注意事項

- ・作品制作・展示・発表に関する、地域の人々の協力や参加については、作品の選考過程において、作者と主催者が協働して調整を行う可能性があります。
- ・作品の展示または発表にあたっては、鑑賞者や通行者の安全確保を最優先し、作者が責任を持って搬入・制作・展示・搬出することとします。また、安全確保のための主催者及び展示・発表場所の管理者の指示に従っていただきます。
- ・何らかの機能を有する場所において展示・発表する場合は、展示期間中、その本来の機能を維持させてください。
- ・その他、おおさかカンヴァス推進事業の公式 WEB サイトで、それぞれの候補地や事業の紹介ページをご確認ください。



水内真英「紅色の船」(大阪の芸術祭、大阪府立美術館トリエンナーレ 2009)
撮影：宮本武典・津野広美 写真提供：大阪の芸術祭実行委員会

水内真英「紅色の船」(大阪の芸術祭、大阪府立美術館トリエンナーレ 2009)
撮影：宮本武典・津野広美 写真提供：大阪の芸術祭実行委員会

大阪府庁舎(木津川ウォールペインティング 2009)

フェリチェ・プラリーニ「円とタワーの間のジグザク」(新潟 2009)
水と土の芸術祭 2009 撮影：中村輝 写真提供：新潟市